

当社のけい酸カルシウム製品(保温・断熱材, 耐火材, 内装材, サインボード材など)及び関連製品は、以下に記載する事項を必ず確認いただいた後にご使用願います。なお、以下は当社けい酸カルシウム製品及び関連製品に関する基本的な注意・禁止事項、免責事項を示しますが、個別の製品・工法・施工などについては更にそれぞれの施工要領書や製品(梱包)に同封・表示される注意事項などがある場合はこれをご確認の上、各製品をご使用願います。不明な点がございましたら、当社営業担当者にご連絡ください。

※当社けい酸カルシウム製品を以下、「製品」と記載します。

1. 設計上の禁止・注意事項

- 1) 建築基準法に基づく防・耐火設計が必要な場合、建築基準法及び同法に関連する施行令・告示・耐火構造認定書などで必要とされる仕様を満たす条件によって設計してください。また、UL 認定・国土交通大臣船舶等用型式認定などで仕様などが定められる場合につきましても、従うべき認定などで必要とされる仕様を満たす条件によって設計してください。
- 2) 適切な防水処理無しに直接水がかりのある部位製品を設計しないでください。製品が破損するなどの恐れがあります。
- 3) 特に大きな集中荷重または衝撃荷重を受けるような場所に製品を設計しないでください。製品が破損するなどの恐れがあります。また荷重などを考慮する必要がある場合、当社営業担当者にご相談ください。
- 4) 常時土または水と接するような湿潤する箇所に製品を設計しないでください。製品の耐久性が低下するなどの恐れがあり、場合によっては製品が破損するなどの恐れがあります。(地表面断熱製品など、一部の対応製品を除く)
- 5) 化学的に有害な影響を受ける恐れのある場所に製品を設計しないでください。製品の耐久性が低下する恐れがあり、場合によっては製品が破損するなどの恐れがあります。
- 6) めんしんたすけシリーズの設計につきましては、免震装置の可動範囲やパネルの可動範囲、被覆対象である免震装置の、取付鋼板やその他の部材の納まりなどの設計状態を考慮する必要があります。設計に際しては当該耐火構造認定書並びに当社発行の取扱説明書を確認すると共に、不明な点につきましては当社営業担当者にお問合せください。

2. 施工上の禁止・注意事項

- 1) 製品は耐火構造認定書、カタログ、技術資料、施工要領書などに従った方法で施工してください。
- 2) 製品自体で載荷されたビスなどを支持させる方法で施工しないでください。製品の破損や載荷物が落下するなどの恐れがあります。必ず下地材などの支持材で支持するようにビスなどを施工してください。
- 3) 製品にタイル張り・モルタルで仕上げ施工しないでください。仕上げ材料が脱落するなどの恐れがあります。このような仕上げを希望される場合、当社営業担当者にご相談ください。
- 4) 内装用仕上下地建材製品(意匠内装材や耐火被覆内装材など)に塗装・クロス貼りなどを行う場合は、必ずプライマーを施してください。これらの仕上げ材が剥がれ、外観不良になるなどの恐れがあります。また、クロス貼りは原則接着施工願います。接着剤を使用せずに施工する粘着部を備える仕上げ面材(粘着部を備えるフィルムシート材料など)は、当社製品に適していません。また、屋外用仕上下地用途への仕上げなどにつきましては、当社営業担当者にご相談ください。

- 5) 現場で切断・穴あけ・面取りなどの製品加工が可能ですが、施工中は接触などで製品の角部や小口などが破損しないように十分注意してください。外観不良になるなどの恐れがあります。
- 6) 製品の上に物を置いたり、乗ったりしないでください。(一部の載荷を許容する製品を除く)
- 7) めんしんたすけシリーズの施工につきましては、施工部品点数が多く、施工手順などに注意する必要があります。施工に際しては耐火構造認定書並びに取扱説明書をご確認願います。
- 8) 固定ピン工法などによりアーク溶接作業を行う場合、感電・漏電など電気障害が起こらないように十分注意してください。また、アーク溶接を行う場合は、OA 機器などへの電氣的な影響に十分注意して施工してください。

3. 保管・運搬上の注意・禁止事項

- 1) 製品の保管(貯蔵)に際しては、雨がかりのある場所その他水気の多い場所に製品を保管(貯蔵)しないでください。製品が吸水すると強度が低下するなどの恐れがあり、藻類やカビなどが発生するなどの恐れもあります。水がかりが予想される場所に保管(貯蔵)せざるを得ない場合は必ず防水シートなどで製品に水がかからないようにしてください。
- 2) 製品は直射日光を避けて保管(貯蔵)してください。特にフィルム梱包されている場合は日光によりフィルムが劣化して破損し、製品への保護能力を失う恐れがありますのでご注意ください。
- 3) 製品はできるだけ水平で平坦な場所に保管(貯蔵)してください。また、1m を超えるような積載、或いは立てかけによる保管(貯蔵)はしないでください。何らかの力が製品に加わった際に製品が崩れる・落下する・転倒する・変形するなどの恐れがあります。
- 4) ダンボールケース入りの製品は、ダンボールケースを立てて(内包される製品が立つ方向で)保管(貯蔵)願います。横倒しで保管(貯蔵)した場合、物を載せるなどの力が加わると内包される製品が破損しやすくなります。
- 5) 製品を車両・キャリアなどで運搬される場合は、できるだけ平積みにしてシートで養生するなど荷崩れが起こらないようにしてください。また、製品の運搬・荷積み・荷降ろしの際には接触などで製品の角部や小口などが破損しないように十分注意してください。作業前にクッション材などで製品を保護することを推奨します。
- 6) 板状製品は木端立て(板面を垂直)にして持ち運びしてください。板面を水平にして持ち運ぶと、たわみや振動で製品が破損するなどの恐れがあります。

(次頁に続く)

4. 安全・衛生上の注意事項

- 1) 当社発行の安全データシート(SDS)の記載事項や労働安全衛生法などの安全・衛生に係る関連法令の諸事項を必ず遵守し、細心の注意をもって製品を施工してください。
- 2) 製品を裁断、加工する場合は粉じん障害防止規則他関係法令に必ず従ってください。更に人体保護上の必要に応じて集じん装置、除じん装置を使用し、防じんマスク、保護めがね、保護手袋、保護衣などを着用してください。電動裁断機をご使用の場合は、集じん装置付きのものをご使用ください。
- 3) 製品の粉が目に入った場合は、水で数分間注意深く洗浄してください。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。皮膚に付着した場合はその部分を石けん水で洗浄し、やや熱めの温水で洗い流してください。
- 4) 製品の施工作業の後は、うがい及び手洗いを励行してください。また、着衣に製品の粉などが付着した場合は粉じんの飛散に留意してよく払い落としてください。着衣を再使用する場合には洗濯をしてください。
- 5) 気分が悪い時、目の刺激が続く場合には医師の診断／手当を受けてください。
- 6) 製品を取り扱う時に、飲食又は喫煙をしないでください。

5. はっ水処理保温材に関する注意事項

当社製けい酸カルシウム製品の中で、はっ水処理保温材(全体はっ水品と表面はっ水品、特に断らない限り両方を示す。詳しくはカタログ等をご確認ください)は、防水性保温材ではありません。本書における各注意事項に加え、以下の点にもご注意願います。

- 1) 水中では使用できません。
- 2) 保温材が絶えず水に晒されるおそれのある場合は、水の浸入を完全に防げる構造としてください。
- 3) 上記 2)の構造が不可能な場合は、水捌けがスムーズに行える構造とし、且つ万が一水が浸入しても速やかに抜ける構造としてください。
- 4) 一時的な雨水等の浸入には、強力なはっ水効果をもたしますが天端等の場合、その水がすぐに抜けない場合もあります。その場合浸入した水を蒸発しやすくするため保温材表面の防水剤の使用を避け外装材も継ぎ目にはシーリング材を施さないでください。水分を長時間滞留させたまま熱を加えますと、保温材に悪影響を及ぼします。
- 5) はっ水剤の耐熱温度は 250℃で、この温度を超えますとはっ水効果はなくなってしまいます。しかしながら内部温度は 250℃を超えても、保温材表面温度が 250℃を超えなければ充分効果はありますので、通常の状態で使用される分には何ら問題はありません。
- 6) 全体はっ水品、表面はっ水品、共に金属腐食抑制力を有するはっ水処理製品ですが、全体はっ水品はより水気を嫌う箇所へ、表面はっ水品はより高い腐食抑制が必要な箇所にご使用いただくと製品特性に応じた使用方法となります。
- 7) 表面はっ水保温材は、出荷製品の全表面に対してはっ水処理が施されており、裁断等の加工をせずにそのまま取り付ける場合は、所定のはっ水性能を発揮します。配管・機器等に取り付ける際、被覆対象の形状に合わせて裁断・切り欠き等の加工をされる場合は、

加工によってできた新しい表面(裁断面)に、施工現場用の当社製はっ水処理液(ロータスライト等、詳しくはカタログ等をご確認ください)を塗布していただければ、裁断面にもはっ水性を付与できます。詳しくは、製品に付属する取扱説明書をご参照願います。

- 8) 水漏れにより製品表面が濡れたように見えることがありますがはっ水性能への影響はありません。

6. はっ水処理耐火被覆材に関する注意事項

当社製けい酸カルシウム製品の中で、はっ水処理耐火被覆材(はっ水性タイカライト等、詳しくはカタログ等をご確認ください)は、本書における各注意事項に加え、以下の点にもご注意願います。

- 1) 寒冷地でのご使用につきましては別途ご相談ください。
- 2) はっ水性タイカライト等、はっ水性耐火被覆板は出荷製品の全表面にはっ水性を持つ製品です。裁断等の加工をせずにそのまま取り付ける場合は、所定のはっ水性能を発揮します。被覆対象の形状に合わせて裁断・切り欠き等の加工をされる場合は、加工によってできた新しい表面(裁断面)に、施工現場用のはっ水処理液(ロータスライト等、詳しくはカタログ等をご確認ください)を塗布していただければ、裁断面にもはっ水性を付与できます。詳しくは製品に付属する取扱説明書をご参照願います。
- 3) 水漏れにより製品表面が濡れたように見えることがありますがはっ水性能への影響はありません。

7. 含有成分に関する注意事項

製品の含有成分の中には、人体に有害な影響を与える可能性を持つ成分があります。また、含有成分は各製品で異なりますので、有害性・危険性の内容は各製品で異なります。製品の含有成分に関する注意事項につきましては、当社が発行する最新の各製品の安全データシート(SDS)をご確認願います。

(次頁に続く)

8. その他の注意事項

- 1) 製品の色調は製造ロットなどによって異なる場合があります。また、シーラーなどの表面処理によって、色調・光沢が変化する場合があります。
- 2) 地震、風、振動など外力の発生や被覆対象の鋼材が大きいことによる耐火被覆板の脱落防止のため、標準施工の支持材に加え、別途支持材（けいカル同質材・金属材など）が必要な場合があります。また、これらの支持材は意匠性や現場状況を考慮して施工する必要があります。
- 3) 製品を廃棄する場合は産業廃棄物として取り扱う必要があります。分別した製品を産業廃棄物として処分する場合は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、ガラスくず・陶磁器くずとして処分してください。なお、当社でリサイクルすることも可能ですので希望される場合は当社営業担当者にご相談ください。
- 4) 製品表面の斑点（白色、灰色など）は通常の製造条件で発生するけい酸カルシウム粒ですので、品質への影響はありません。
- 5) 海外でのご使用につきましては、別途当社営業担当者にご相談ください。
- 6) 金属保温材、建築用耐火塗料・防火区画貫通部の防火処置関連工法、無機粉体につきましては、別途注意事項がございます。また、各種の注意事項は最新情報をもって更新することがございます。詳しくは当社ホームページをご参照ください。

9. 免責事項

製品をご使用の際、万一製品に関する問題が生じた場合には当社の営業担当者にご連絡くだされば誠意をもって対応いたしますが、以下の免責事項に該当する場合には当社は責任を負いかねますのでご注意ください。

- 1) 当社や各種の認定書・仕様書などの定めに従わないことにより問題が生じた場合。
- 2) 前述の禁止・注意事項に従わないことにより問題が生じた場合。
- 3) 当社が推奨する標準仕様を明らかに逸脱する独自の仕様・施工方法・材料・部品などにより問題が生じた場合。
- 4) 当社の責任施工範囲外での施工・現場管理などに起因して問題が生じた場合。
- 5) 建物の構造・下地の変形、老朽化や外部からの衝突など、当社の製品・工法以外の外的要因により問題が生じた場合。
- 6) 製品の引き渡し後に当社以外の者により構造・性能・仕様などの改修が行われ、これにより問題が生じた場合。
- 7) 使用者もしくは第三者の故意または過失により問題が生じた場合。
- 8) 通常の経年変化に伴うほこりや排気ガスなどにより汚れなどの問題が生じた場合。
- 9) 通常想定される環境条件（温度・湿度・気圧・水圧・その他）以外の条件下での使用、保管（貯蔵）、輸送などにより問題が生じた場合。
- 10) 地震、台風などの天災などの特殊な要因により問題が生じた場合。
- 11) 止水工事の不備による浸水や、通気・断熱・水蒸気供給などの湿気環境の諸条件により結露水が発生する、或いは極めて高湿度となるような環境下での使用・保管（貯蔵）・輸送などにより、藻類やカビ、またはビスなどの金属類の錆によって汚染などの問題が生じた場合。

会社名：日本インシュレーション株式会社

住所：岐阜県瑞穂市野田新田字北沼 4064-1

電話番号：058-326-3221 FAX 番号：058-327-3821

